

としての応用. 歯科技工: 38 (2) 235-242, 2010.

- 4) 林頼雄. 歯科補綴物に用いられる金銀パラジウム合金のEPMAによる金属元素分布の分析と同定. Forensic Dental Science: 3 (1) 50-52, 2010.

【特許】

- 1) グリコーゲンを含む骨形成促進剤, 特願: 2010-207293 (2010年9月15日出願), 発明者: 依田浩子, 大島勇人, 中川英蔵, 田中みか子, 高田洋樹, 特許出願人: 国立法人新潟大学, 江崎グリコ株式会社, 2010.

【その他】

- 1) 林頼雄: 北陸地方の獅子頭(仮面)における相貌の造形様式について. 千葉県美術館講演会, 千葉, 2010年8月7日, 2010.
- 2) 魚島勝美, 星名秀行, 藤井規孝, 富塚健, 荒井良明, 久保田健彦, 小林正治, 櫻井直樹, 田口裕哉, 山田一穂, 勝見祐二, 荒澤恵: 「インプラント治療の基礎 - 安全で確実な医療を提供するために -」平成22年度インプラントハンズオンセミナー, 新潟, 2010年10月2日, 2010.
- 3) 櫻井直樹: 床義歯のメンテナンス. 研修医セミナー 2009年6月23日, 2010.
- 4) 渡邊清志: 「全部床義歯の人工歯排列 [理論編] - 特にLingualized occlusion について -」東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校特別講義, 2010年7月, 東京, 2010.
- 5) 渡邊清志: 「全部床義歯の人工歯排列 [理論編] - 特にLingualized occlusion について -」東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校特別講義, 2011年1月, 東京, 2011.
- 6) 野村修一, 他教室員: 「そうだったのか! 総義歯補綴治療 - 超高齢社会への対応 -」新潟大学歯学部同窓会セミナー, 2011年2月20日, 新潟, 2011.

生体歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Takano R, Stegaroiu R, Nagasawa M, Uoshima K: Towards the establishment of a 3-D finite element model to investigate stress distribution around an implant under excessive load in a rat model: optimal implant location and dimensions Revista Romana de Stomatologie (Ro J Stomatol) 57 (1): 62-66, 2011.
- 2) Akiba Y., Tomizuka K., Kaku M., Kawasaki M., Nagasawa M., Takano R., Uoshima K.: Analysis of

patients visiting Niigata Medical and Dental Hospital with chief complaints of dental metal allergy and/or dental focal infection in the previous 8 years. The Indonesian Journal of Dental Research 1 (2) in press, 2011

- 3) 安島久雄, 魚島勝美, 小野和宏, 藤井規孝, 井上誠, 山村健介, 齋藤功, 興地隆史, 高木律男, 前田健康: 新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性, 日歯教誌, 26(3), 349-353, 2010
- 4) 小野和宏, 八木稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 藤井規孝, 林孝文, 齋藤功, 興地隆史, 前田健康: 新潟大学歯学部歯学科のカリキュラム評価 - 学習効果に関する卒業生の自己評価と教員評価の一致度による検討 -, 日歯教誌, 26 (1), 49-57, 2010

【商業誌】

- 1) 魚島勝美, 前田健康: 新潟大学歯学部の国際交流「留学生受け入れにみる歯科の国際連携」, 日本歯科評論 70(12), 186-188, 2010

【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美: 咬合力による骨組織改造の高精度予測. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 22659348, 2010
- 2) 富塚健: 歯肉貫通部の防御機能を向上させる新たなデンタルインプラント表面の構築. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C), 20592258, 2010
- 3) 加来賢: ヒト歯根膜由来・神経堤幹細胞によるセメント/歯根膜複合体再生法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 22791875, 2010
- 4) 秋葉陽介: エピジェネティクス制御を用いた細胞工学的的手法による新規骨造成法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 22791873, 2010
- 5) 吉田恵子: 培養骨膜細胞・スキヤフォールド・サイトカインを併用する予知性の高い骨増成法. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 22791878, 2010
- 6) 川崎真依子: 抗アポトーシスタンパク HSP 27 の細胞内導入法を用いた効果的な骨造成法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 22890068, 2010
- 7) 加来咲子: プライマリー・シリアを介した機械的刺激による歯根膜組織の維持機構. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 22890067, 2010
- 8) 加来賢: 歯根膜におけるコラーゲン・クロスリンクを介した組織安定化機構. 平成22年度新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2010

- 9) 秋葉陽介：移植骨造成法における細胞超生と生着に関する研究. 新潟大学平成 22 年度プロジェクト推進経費 奨励研究, 2010
- 10) 加来咲子：歯根膜におけるメカノレセプターとしてのプライマリー・シリアの機能解析. 平成 22 年度新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2010
- 11) 秋葉陽介：臨床歯学演習. 新潟大学平成 22 年度授業改善プロジェクト, 2010
- 12) 加来賢：ローヤルゼリーによるコラーゲン・クロスリンクを介した組織安定化機構. 山田養蜂場みつばち研究助成基金, 2010
- 5) 長澤麻沙子, 高野遼平, Bhuiyan Md Al-amin, Mamunur Md Rashid, 前田健康, 魚島勝美：荷重インプラント周囲骨の組織学的変化. 平成 22 年度新潟歯学会第一回例会, 新潟, 2010 年 7 月 10 日, 平成 22 年度新潟歯学会第一回例会抄録集 :10 頁, 2010
- 6) Kaku M., Kawasaki M., Rosales JM., Uoshima K.: Effect of Mechanical Loading on Post-translational Modifications of Collagen. IADR/AADR 88th General Session, Barcelona, SPAIN, J. Dent. Res 89 (B) ;3747, 2010
- 7) Akiba Y., Kaku M., Nagasawa M., Bhuiyan A.A., Uoshima K.: Effect of HDACIs on mesenchymal stem cell in osteogenic differentiation. IADR/AADR 88th General Session, Barcelona, SPAIN, J. Dent. Res 89 (B) ;1013, 2010

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 加来賢, 魚島勝美, 機械的刺激による骨組織の安定化機構—コラーゲン修飾酵素によるクロスリンクの生成—. 第 27 回 歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い, 東京, 2011 年 1 月 8 日
- 2) 秋葉陽介, 魚島勝美, ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤 (HDACI) を用いたエピジェネティクス制御による新規骨造成法に関する研究, 第 27 回 歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い, 東京, 2011 年 1 月 8 日
- 8) Yoshida K, Uoshima K, Wright T, Mochida Y: Novel exon in Fam83h, a causative gene for Amelogenesis Imperfecta. IADR/AADR 88th General Session, Barcelona, SPAIN, J. Dent. Res 89 (B) ;4752, 2010
- 9) Kawasaki M., Kaku M., Rashid Md. M., Uoshima K., Detection of MMP-13 among Dental Follicle Cells during tooth eruption., IADR/AADR 88th General Session, Barcelona, SPAIN, J Dent Res 89 (B) ;1239, 2010

【学会発表】

- 1) 加来賢, 川崎真依子, 秋葉陽介, ロサレス・マルセロ, ラシッド・マムヌル, 魚島勝美：コラーゲン修飾酵素の特異的発現が機械的刺激による歯根膜組織の安定化を制御する. 第 119 回日本補綴歯科学会, 東京, 2010 年 6 月 12 日, 日本補綴学会雑誌 119 (2) :210 頁, 2010
- 2) 秋葉陽介, アルアミン=ブイアン, 川崎真依子, 加来賢, 魚島勝美：間葉系幹細胞の骨誘導におけるヒストン脱アセチル化阻害剤の影響について. 第 119 回日本補綴歯科学会, 東京, 2010 年 6 月 12 日, 日本補綴学会雑誌 119 (2) :205 頁, 2010
- 3) 川崎真依子, 吉田恵子, 加来賢, 長澤麻沙子, 藤井規孝, ロサレス・マルセロ・, アルアミン・ビヤン, マムヌル・ラシッド, 魚島勝美：咀嚼能率検査と QOL アンケートによる固定性インプラント義歯と可撤性部分床義歯の比較. 第 119 回日本歯科補綴学会学術大会, 東京, 2010 年 6 月 12 日, 日本補綴学会雑誌 119 (2) :196 頁, 2010
- 4) 長澤麻沙子, 高野遼平, 吉田恵子, 川崎真依子, 前田健康, 魚島勝美：ラット咬合モデルを用いた咬合力に対するインプラント周囲骨変化の組織学的観察. 第 119 回日本歯科補綴学会学術大会, 東京, 2010 年 6 月 12 日, 日本補綴学会雑誌 119(2):106 頁, 2010
- 10) Nagasawa M., Yoshida K., Takano R., Maeda T., Uoshima K.: The Risk of Early and Over Loading of the Implants. IADR/AADR 88th General Session, Barcelona, SPAIN, J. Dent. Res 89 (B) ;S0975, 2010
- 11) Rosales J.M., Kaku M., Akiba Y., Kawasaki M. Nagasawa M., Uoshima K.: Mineralization Ability of Periosteum Derived Cells. IADR/AADR 88th General Session, Barcelona, SPAIN, J. Dent. Res 89 (B) ;1732, 2010
- 12) 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 田口裕哉, 興地隆史, 魚島勝美, 齊藤力, 前田健康：新潟大学歯学総合病院歯科医師臨床研修における複合型プログラム研修歯科医の評価. 第 29 回日本歯科医学教育学会学術大会, 盛岡, 2010 年 7 月 20 日
- 13) 塩生有希, 南智香子, 君雅水, 長澤麻沙子, 小野和宏, 魚島勝美, 前田健康：新潟大学歯学部における PBL 実施方法の評価—学生の立場から—, 第 29 回日本歯科医学教育学会学術大会, 盛岡, 2010 年 7 月 21 日第 29 回日本歯科医学教育学会プログラム抄録集, 102 頁, 2010
- 14) 高野遼平, 長澤麻沙子, Stegaroiu Roxana, 魚島勝美：3次元有限要素法によるシミュレーションと実際の

- 骨改造との相関性検証を目的としたモデル構築. 第40回日本口腔インプラント学会学術大会, 札幌, 2010年9月17-19日, 第40回日本口腔インプラント学会学術大会プログラム・抄録集, 290頁, 2010.
- 15) 岡田直人, 野村修一, 川崎真依子: 義歯着脱補助具の製作と評価. 日本歯科技工学会第32回学術大会, 愛知, 2010年11月6-7日, 日本歯科技工学会第32回学術大会プログラム講演抄録, 110項, 2010
 - 16) Kaku M., Kawasaki M., Rosales JM., Uoshima K.: Hyper-Occlusal Loading Affects to the Expression of Collagen Modifying Enzymes. JADR 58th General Session, 北九州, 2010年11月20日
 - 17) Kaku M., Rosales JM., Akiba Y., Nozawa M., Uoshima K.: Type XII Collagen Modulates Matrix Formation and Mineralization on Human PDL Cells. International Joint Symposium on Oral Science, Bali, INDONESIA, 2010年12月17日
 - 18) Kawasaki M., Kaku M., Rosales M., Nozawa M., Uoshima K.: Mechanical Loading Induces the MMP-13 induction at Epithelial Rests of Malassez. International Joint Symposium on Oral Science, Bali, INDONESIA, 2010年12月17日
 - 19) Nagasawa M., Uoshima K., Maeda T.: Histological Investigation on the Bone Surrounding Dental Implant upon Occlusal Load Using a Novel Rat Model. International Joint Symposium on Oral Science, Bali, INDONESIA, 2010年12月17日
 - 20) Uoshima K., Nagasawa M., Ono K., Maeda T.: Development of a novel and comprehensive pre-clinical practice course. IADR/AADR 89th General Session, San Diego, USA, J. Dent. Res 90(A); 0705, 2011.
 - 21) Kaku M., Rosales JM., Akiba Y., Nozawa M., Uoshima K.: COL12A 1 Gene Silencing Enhances Osteoblastic Differentiation of Human PDL Cells. IADR/AADR 89th General Session, San Diego, USA, J. Dent. Res 90 (A);1531, 2011
 - 22) Akiba Y., Mamunur R.M., Nagasawa M., Uoshima K.: Development and evaluation of zirconium-dioxide dental implant drill. IADR/AADR 89th General Session, San Diego, USA, J. Dent. Res 90(A) ; 3263, 2011
 - 23) Yoshida K, Wright T, Uoshima K, Snead M. L., Mochida Y: Generation/characterization of Fam83h antibody. IADR/AADR 89th General Session, San Diego, USA, J. Dent. Res 90(A) ;1334, 2011

【研究会発表】

- 1) 加来賢, 魚島勝美: コラーゲン修飾酵素の特異的発現が機械的刺激による歯根膜組織の安定化を制御する. 第3回 Niigata Bone Research Club, 新潟, 2010年5月21日
- 2) 加来賢, 秋葉陽介, ロサレス・マルセロ, 野沢恩美, 魚島勝美: 機械的刺激はコラーゲン分子の翻訳後修飾を介して歯根膜組織の安定化に寄与する. 口腔先端応用医科学研究会, 第3回学術会議, 東京, 2011年1月22日
- 3) 秋葉陽介, 加来賢, 魚島勝美: ヒト口腔内由来幹細胞にヒストン脱アセチル化阻害剤を用いた新規骨造成法に関する研究. 口腔先端応用医科学研究会, 第3回学術会議, 東京, 2011年1月22日

【受賞】

- 1) 川崎真依子, 吉田恵子, 加来賢, 長澤麻沙子, 藤井規孝, ロサレス・マルセロ, アルアミン・ビヤン, マムヌル・ラシッド, 魚島勝美: 咀嚼能率検査とQOLアンケートによる固定性インプラント義歯と可撤性部分床義歯の比較, 第119回日本補綴歯科学会学術大会, 東京2010年6月13日 優秀ポスター賞 (デンツプライ賞)
- 2) 荒澤恵, 小田陽平, 小林正治, 魚島勝美, 西山秀昌, 星名秀行, 齋藤力: 自家骨移植による上顎洞底挙上術後の移植骨体積の経時的変化. 第14回顎顔面インプラント学会, 浦安市, 2010年12月4-5日. 大会長賞.

歯科矯正学分野

【著書】

- 1) 齋藤 功: 顔が変形していると訴える患者が来院したら. 『口腔診療必携-困ったときのマニュアル・ヒント集-』(高戸 毅ほか編), 60-61頁, 金原出版, 東京, 2010.
- 2) 伊藤学而, 中島榮一郎, 榎宏太郎, 齋藤 功, 市川和博: 臨床家のための矯正 YEAR BOOK '10. 193頁 (総ページ), クインテッセンス出版, 東京, 2010.
- 3) 渡邊直子: 海外論文紹介 Quantitative cervical vertebral maturation assessment in adolescents with normal occlusion: A mixed longitudinal study. 臨床家のための矯正 YEAR BOOK'10, 135頁, クインテッセンス出版, 東京, 2010.

【論文】

- 1) Saito I, Kabasawa M, Watanabe Y, Watanabe N,